

株式会社ALISys



代表者	代表取締役 佐藤 源之
住所	〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 東北大学連携ビジネス インキュベーターT-Biz 201号室
ウェブサイト	https://alisys.co.jp/
設立	2019年2月
資本金	500万円

事業概要

ALISysとは、Advanced Land Imaging Systemの略称で、東北大学佐藤研究室が有する、先端地雷探査レーダシステム (ALIS)および先端地表監視レーダシステム (MIMO型GB-SAR)を中核とする、電磁波による地表計測技術の総称です。

株式会社ALISysは、これらのレーダ技術を用いた先端地表計測技術で、紛争被害国での人道的地雷除去作業の効率化、国内外での土砂崩れや社会インフラ老朽化被害の抑制等の社会課題に貢献することを目的に2019年2月に創業されました。

強み・アピールポイント

ALISysの強みは合成開口レーダ信号処理技術です。東北大学佐藤研究室が開発した極めて自由度の高い合成開口レーダ信号処理ソフトをベースに、地雷や埋設管、路面下空隙、鉄橋振動、法面／トンネル切羽崩落、ダム／堤防決壊等の様々な観測対象物事に対し、それぞれ最適にカスタマイズして異常や変位計測可能なレーダシステムを設計できる、世界で唯一の地表計測用合成開口レーダのオーダーメイドカンパニーです。

ALISは、JICAを通じて、カンボジア、ウクライナの地雷除去活動に供与されています。

マッチングニーズ

・将来弊社製品のALISまたはGB-SARの量産製造拠点を仙台周辺に建設するなどの販売拡大に伴う大型設備投資が必要になった場合にご相談できそうなVCを希望します。

・弊社GB-SARの販路や事業展開を一緒に考えていただけそうな事業会社（ALISの商流は決まっておりますので、ニーズはございません）

登壇者プロフィール

東北大学教授として培ってきた合成開口レーダ技術とソフトウェアを基に、地雷検知センサ“ALIS”を完成、カンボジアなど地雷被災国での実証試験を経て実稼働を開始。現在ウクライナへの導入プロジェクトに従事。他方、MIMO型地表設置型合成開口レーダ (GB-SAR)を開発し、地滑りモニタリングを実用化。この2つの技術を核として2019年に(株)ALISysを創業、2023年4月に代表取締役就任。



代表取締役
佐藤 源之